



夢が広がった奥利根デビュー！

---

## 奥利根 檜俣川前深沢

---

前田

【日時】2012年7月15日(日)～16日(月)

【メンバー】L木下、手嶋、佐藤、前田(奈)

源太郎で手嶋さんに「海の日3連休はワタクシをよろしくお願いします！」と早めに運動した甲斐があり、木下さんとの計画に入れていただけることに。さらに耕至さんも加わり、トマ三銃士？に囲まれての奥利根デビューとなった。

7月15日 曇り

スキーで定宿となった片品の前泊地を出発し、手嶋さんの高級車（後部座席はファーストクラス！）を鳩待峠との分岐の津奈木橋付近に止め、木下車で檜俣ダムへ。立派なゲートをまたいで檜俣川沿いの林道に入る。そのうち道がすっぱり落ちている箇所や、大きく崩壊している箇所も出てきて、これではミニバイクや自転車も無理そう。およそ3時間の林道歩きは曇っていたがかなり蒸し暑く、途中で木下さんと手嶋さんが嬉しそうに「ヌードヌード」と脱いでいた。お二人のおナカにはトリプルA（あまりありがたくありません）の格付けを差上げた。狩小屋沢出合から檜俣川に降り、矢種沢出合まで右岸の踏み跡を歩いた後入溪。アクセスが悪いせい、釣り人はダム近くで見かけただけで、百名山直下なのに誰にも会わない。

初めての奥利根の沢は、薄緑色の淵とナメが続き、警戒していたアブも「奥利根にはいないよ～」とのこと。何て良いところなの！オクトネって素敵～。最初の5m滝を登り、ナメ滝を進むうちに先頭の木下さんが魚影を認めて一気に釣りモード。前深沢に入ってすぐの中深沢出合で早くも釣りタイムとなった。私もこの日のために竿を買って気合十分だったのに、しっかり家に忘れていた…。あんなに事前にいろいろ教えてもらったのにスママセン。手嶋さんから道具をお借りし、岩魚がいそうな場所や釣り方をレクチャーいただいたが、初心者には奥利根の岩魚は手ごわかった。結局木下さんが2匹を釣り上げ、今夜のツマミを楽しみに先に進むことにする。

相変わらず綺麗なナメを楽しみながら進むと、2段10mの滝など快適に登れて楽しい。今回はこれまた初めてのアクアステルス履いている。この靴の評判通り、滑りやすい黒くヌメったところはおたすけをもらい、20m滝は右から取り付き流心をくぐって抜ける。暑かったのでちょうどよく冷えた。そのまま少し行くと空が怪しくなってきた。右側から落ちる綺麗な滝が見えてきたところで右岸に平らな場所を見つけ、13時過ぎと少し早いけど本日の行動は終了となった。耕至さん曰く「バイルはテンバの設営が一番活躍



する」。確かに草を刈るのも大きな石を掘るにも便利。設営中に夕立が来たがすぐに上がり、焚き火もぼちり、念願の岩魚の刺身をいただきながら滝見の宴会を楽しんだ。

7月16日 晴れ

今日はこの沢のハイライト、50m大滝が待っている。気持ちと沢靴の紐を引き締め、6時前に出発。まずはテンバから見えていた10mほどの滝に取り付く。特に困難もなく左から登り、ナメ滝の連続を清々しい朝の空気の中進んで行くと目指す至仏の山頂も見えている。事前に記録で見た4段19mという中途ハンパな高さのトイ状の滝も快適に登り、しばらく行くといよいよ大滝が現れた。木下さんが初めてロープを出す。右側の乾いたところを登り、中ほどのテラスでワンピッチ、後続の手嶋さんが続き、私は3番手で登らせてもらう。最初の取り付けに足が届かず苦労したが、あとはアクアステルス様々で問題なく登れた。その先のスラブは空身で登り、先々週の渡渉訓練でおろしたての沢用ザックが荷揚げの洗礼を受けた。もっとボロボロになるようこれからいっぱい沢に連れて行こう。

大滝の上部は開けて明るくまだまだナメが続く。三銃士は休憩中も奥利根の峰々を見ながらの沢とスキー話で盛り上がっている。が、私には固有名詞がほとんど??? 　　そういえば、GWの奥利根周遊スキーも天気は翻弄されて行けなかったな。今回は和賀の予定がやはり天気予報の悪さから2日間の短縮で転進となり、図らずもこんな良い沢に来ることができた。奥利根はまだまだこれから。帰ってからいろいろ調べてみよう。

水流もだいぶ細くなった頃、高山植物がちらほら出てきた。手嶋さんがウスユキソウに感動しているが、私は粉っぽい感じがどうも…。シオガマやコザクラのピンク色には山ガールモードにスイッチが入った。けっこう長い上部のガレを注意して登り、稜線に出ると反対側の尾瀬の景色に歓声上がる。握手を交わして（これも初体験。一度書いてみたかったです）たくさんの登山者が見える山頂を目指す。

至仏山はやっぱり百名山。やっぱり尾瀬。休憩する場所も無いほどで、ロープの外側の大きな岩の上でしばし休んだ後下山開始。「このメジャーな山城の登山道がたまないねえ」との手嶋さんの一言に、一瞬耳を疑うが、メジャーもマイナーも楽しむ門戸の広さが・・・などと自問しつつ下る。登山道はすれ違うのも追い越すのも人が多くて嫌になるが、耕至さんが山ガールを隠し撮りする姿と、池塘のワタスゲに和まされた。後半は我慢できずダッシュで降りて鳩待峠のタクシー乗り場へ。係員に交渉するも、「途中で降ろすことはできません。歩いてください」と断られ、1時間弱の舗装道歩きとなった。

アクアステルス底は薄いので舗装道は特に足が痛くなると聞いていたが、やはりつらく津奈木橋に着いた頃にはヨロヨロ。足が痛いモードを全開にすると手嶋さん自ら回収に行ってくだった。会長に車を取りに走らせる寛容な山岳会トマの風。入ってよかった。櫛俣ダムへ木下車の回収に向かう道中は、フルクライニング・レグレスト付きの後部座席で耕至さん・木下さんとも熟睡。寛容な会長は運転手。私は助手席でウトウ

トしながら、次の奥利根行きを心待ちにしていたのだった。

【行程】 7/15 檜俣林道ダム(7:40)～狩小屋沢出合(10:15)～前深沢出合(11:30/12:20)  
～1270mBP(13:15)

7/16 BP(5:45)～50m大滝(7:00/8:00)～至仏山山頂(10:50/11:20)～鳩待峠  
(12:40)～ 津奈木橋駐車地点(13:30)

【地図】 藤原、至仏山

